

3年間で学校は変わる ～3学期終業式 学校長の話から～

平成29年度が終わりました。4月からは、それぞれが3年生、2年生として順調な学校生活のスタートを切ってほしいと思います。

【3学期終業式 学校長の話から抜粋】

平成29年度は今日で終わりますが、みなさんは何かに挑戦しましたか？「挑戦」というと大げさな感じがしますが、何かに本気で取り組みましたか？一度考えてみてください。

「人生で本気は何度あったかな」という川柳があるそうですが、今年度に本気は何度あったでしょうか。高校生活の中に本気で取り組むものを見つけた人は、必ず自分の能力を伸ばし、自分を成長させることができた人だと思います。



3年間で学校が変わると言われることがあります。それはどういうことかと言うと、3年間で、生徒のみんなが成長すれば、学校が成長するということです。

良い学校とは、良い生徒がいるから良い学校になるのです。3年間で生徒のみんなが変われば、成長すれば、学校も変わります。だから3年間で学校が変わるのです。

陸上競技に三段跳びという種目があります。連続した3回の跳躍を行ない、その距離を競う競技です。助走から踏切板で第1歩を跳び（ホップ）、踏み切ったのと同じ足で第2歩を跳び（ステップ）、反対の足で第3歩を跳んで（ジャンプ）、最後は両足で着地して跳んだ距離を競うそうです。3回連続して飛ぶのでトリプルジャンプとも言われます。

高校生活3年間はちょうどそんなイメージではないでしょうか。ホップ・ステップ・ジャンプで3年間の学校生活をとおしてみんなが成長すれば、氷上西高校はどんどん良い学校になっていきます。氷上西高校を、良い生徒のいる良い学校にしていましましょう。

来年度も、いろいろなことに挑戦することで、みなさん一人一人が大きく成長してほしいと思います。

(校長 高橋信之)